

# そなえる まつなみ 第3号



発行／松波自主防災会 千葉市中央区松波 2-22-35 松波会館内 2024年6月

## ●梅雨時こそ大雨に備える！

このところ、「集中豪雨」とか「線状降水帯」といった大雨に関わる言葉を聞く機会が増えていると思いませんか？ たしかに気象庁の発表でも、過去120年のデータでは、1日に200ミリ以上の大雨を観測した日数が増えていること、また1976年以降の全国1300地点の「アメダス」のデータでも、「滝のように降る」1時間50ミリ以上の集中豪雨の頻度が増加傾向にあると述べています。（「大雨注意報」は、土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます）。

### ★土砂災害や洪水・高潮の危険性は低そう。でも浸水被害は何度か発生！

では、松波地域の危険度はどんなでしょう？ 「千葉市風水害ハザードマップ」によると、松波は「土砂災害警戒区域」（区内76か所）に指定されているところもなく（登戸や椿森にはあり）、また「津波浸水」「洪水・高潮」の危険区域も該当地域には含まれていません。ひとまず、そうした危険度は低いと見ていいと思います。

でも過去には、大雨が排水容量を超えて道路に水があふれた経験には何度か見舞われています。松波会館の前や2丁目の桜並木の下の道路など、思い出す方も多くでしょう。これから秋にかけて、大雨の危険性が増す時期を迎えます。どこが低くて雨水の集中する危険性が高いか、ぜひ雨が降ったら確認しておいてください。

### ★1時間雨量と雨の降り方(気象庁資料)

1時間の雨量	降り方の特徴
10～20ミリ	ザーザーと降る。雨の音で話し声がよく聞き取れない。
20～30ミリ	どしゃ降り。側溝や下水があふれ、小規模ながけ崩れが起きる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る。下水管から雨水があふれる。
50～80ミリ	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。都市部では、地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから雨水が噴出する。
80ミリ～	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖感を感じず。大規模な災害が発生するおそれが強い。

●今年の防災訓練は、10月6日(日)の開催予定です。